

意見を聴く会の進め方について

広島県教育委員会
学校経営支援課

1 総合教育会議（平成 29 年 3 月 24 日開催）の議論の概要

学びのセーフティネット構築検討のキックオフ会議として、平成 29 年 3 月 24 日に総合教育会議を開催。

首都大学東京 阿部 彩 教授の意見発表

～ 東京都の子供の生活実態調査による子供の貧困の現状説明

○ 子供の生活実態について

食事の摂取状況
公共料金の滞納状況
親の精神的な状態
家庭での学習環境整備状況 等

生活困難層の子供の生活は
危機的な状況にある。

○ 学びに関する状況について

学校の授業が理解できるか
授業が分からなくなった時期 等

生活困難層の子供は一般層の子供に比べ
・授業が分からないと答えた割合が高い。
・学習のつまずきは早い段階で発生している。

○ 対策について

川下対策ではなく川上対策が重要

- ・ 「川下対策」（貧困に陥っている子供への対策）～学習支援事業，子供食堂 等
- ・ 「川上対策」（子供全体への対策）～公教育，給食 等

【 出席委員からの主な意見 】

- 我慢強さ，困難に耐える力を身に着けるには幼児期からの対策が必要
- 幼児教育により非認知能力を育てることが重要
- 家庭・生活面の支援などは，スクールソーシャルワーカーなどを通じて福祉部門へつなぐことが重要

2 本日（第 1 回意見を聴く会）の論点

- 貧困と学力との関係を深掘り
- 幼児教育の重要性と貧困層の子供への効果
- 学校が家庭にどこまで関与すべきか

3 今後の予定

意見を聴く会は 10 月頃までに 2～3 回程度開催する予定（最終回は総合教育会議として開催予定）。